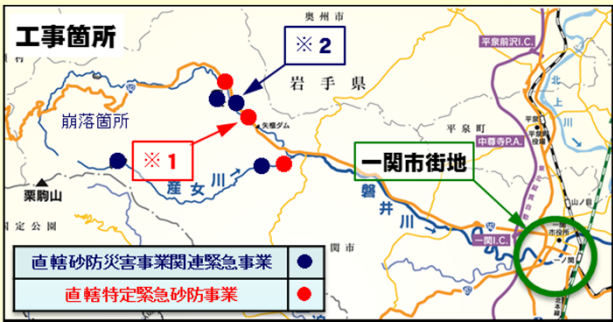




『砂防施設完成式』開催



平成27年3月7日(土)に、栗駒山系磐井川流域 砂防施設完成式が行われました。この施設は平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震により、大規模な地すべり・崩落・土石流が発生し、河道閉塞(天然ダム)等が形成されたことから、下流の一関市街地の安全対策のため、平成20年度より河道付替、除石、堰堤整備等の対策が行われてきたものです。

当日は工事関係者の他、地元住民や工事用地にご協力頂いた方々など47名が出席し、工事の完成を祝いました。



勝部一関市長の挨拶

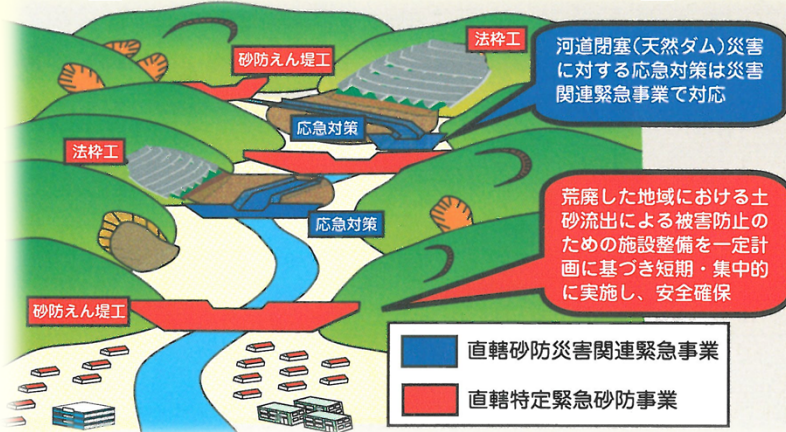


国土交通省 栗原保全課長の挨拶



地元を代表して佐藤徹美18区区長からお言葉を頂きました

【事業について】



※1 市野々原2号砂防えん堤



工事着手前



工事完成

※2 市野々原地区(排水路掘削)



被災直後の状況



仮排水路掘削状況



河道付替完了

◆◆編集後記◆◆ 一関市厳美町祭時には岩手・宮城内陸地震で落橋した祭時大橋が災害遺構として残されています。内陸地震での被害が今でも見ることができますので地震を風化させないためにも是非一度訪れてみて下さい。(え)